

1. まちづくりの経過を通して見る河崎の歴史と文化

昭和 49 年の水害

7/7

中心部 水に浸る。

まちを知る 地域資源

川幅を広げる事業

NPO 法人伊勢河崎まちづくり衆の設立

平成 11 年 11 月

伊勢河崎商人館の保存と活用

2. 伊勢河崎商人館の管理・運営

伊勢河崎商人館開館 平成 14 年 8 月

独立採算 公設民営

↓

指定管理者制度の導入 平成 18 年 9 月より

↓

開館から 8 年の成果と今後

3. ボランティア論

学生学芸員制度

ボランティア学芸員制度（学生）の確立

大学との協働 学生大学院生

ボランティアガイド

調査
研究

清掃・ゴミパトロール・花木園の会

博物館実習

展示・調査・目録作成等を行なう

4. 地域博物論 人が来ること・物が並べられている

展示・イベント

来館者への話しかけ

人から人への情報伝達

博物館とまちは一体

まちを知ることはそこに長く暮らせる第一歩

自分達の先祖に遭える

自分達の子供の頃の町がわかる

解らないことや昔のことがわかり

楽しい

自分達の博物館と思えるか

まちにはまちにあった博物館が必要

まちの歴史と文化を次の世代に伝える所

地域に博物館が存在する意味

西城利夫